

今年の夏は
本を読もう！

新しい自分に出会う夏

『オラレ!タコスQueen』

ジェニファー・トレス／作
おおつか のりこ／訳
文研出版
¥1600



ステファは13歳。メキシコ系移民のパパは、キッチンカーでタコス売っている。小さい頃は、タコス屋の娘なのが自慢で、いまもパパのつくる料理は最高、なんだけど…。移民の国アメリカで成長していく少女を温かく描いた物語。

『王様のキャリー』

まひる／著
講談社
¥1450



松崎中学校
N先生の紹介

中学2年生の勝生には憧れのeスポーツ動画配信者がいる。偶然出会ったその人は、近所に引っ越してきた車椅子の少年リオだった。実力差がありながらもeスポーツを通して、ぶつかり合い、心を通わせる友情物語です。

『ヤングタイマーズの
お悩み相談室』

石川 宏千花／作
くもん出版
¥1500



誰かに聞いてもらいたいけど、家族には話にくい悩み。そんなとき、たまたま聴いていたラジオから、自分と同じような悩みの相談が流れてきたら…。ラジオ番組「放課後の放課後」が、6つのお悩み相談にお答えします！

『SNS時代のメディアリテラシー
ウソとホントは見分けられる?』

山脇 岳志／著
筑摩書房
¥1200



天王寺川中学校
N先生の紹介

メディアリテラシーって何？世の中にあふれる情報を、どう扱ったらいいの？何が本当で、なにがフェイクニュースなの？見分け力をつけてくれる一冊。読みやすいので、現代を生きる人、みんなに読んでもらいたい。

『ハロハロ』

こまつ あやこ／著
講談社
¥1500



荒牧中学校
S先生の紹介

日本でもフィリピンの番組がたくさん放送とか配信とかされればいいのに。ののかはフィリピンが、ジョシュア先生が、気になって仕方ない。ハロハロと聞いて浮かぶ物とは…。これも実はフィリピンのスイーツだった。

『学校に行かない僕の学校』

尾崎 英子／作
ポプラ社
¥1600



西中学校
S先生の紹介

つらい過去を持つ主人公・薫は「森」の全寮制フリースクールで過ごしている。そこにいるのは一風変わった先生、そして事情を抱えた仲間たち。「森」での生活で、薫や仲間が成長し、自分らしさを見つけていく物語。

『ミルキーウェイ』

竹雀農業高校牛部』

堀米 薫／作
新日本出版社
¥1500



竹雀農業高校へ入学した夢生は、牛に惹かれ、実習用の牛のお世話をする「牛部」へ入部する。日本の乳牛の99%を占めるといふホルスタイン種。夢生の体の3、4倍はありそうな大きな牛たちとの生活が始まり…。

『世界ぐるぐる怪異紀行』

どうして「わからないもの」はこわいの?』

奥野 克巳／監修
奥野 克巳ほか／著
河出書房新社
¥1420



世界にはどんな怪異があるのか。それにはどんな背景や意味があるのか。ペナンの妖術師、ヴァヌアツで取り憑いた魔女など、9人の文化人類学者たちがそれぞれの調査研究地で体験したり、見聞きたりした怪異を紹介する。

『全校生徒ラジオ』

有沢 佳映／著
講談社
¥1500



過疎の村の女子中学生4人が始めたポッドキャスト。全校生徒がこの4人だけの中学校だから、タイトルは「全校生徒ラジオ」で…。4人の会話と、その会話の文字起こしをする男子中学生の独白で構成したポッドキャスト青春小説。

『6days遭難者たち』

安田 夏菜／著
講談社
¥1500



東中学校
T先生の紹介

この4月に「花のJK」となったばかりの3人の女子高生。彼女たちは山に登ることを思いつき、それぞれが抱える悩みから逃れるために、ハイキング程度の筈だった登山は、予期せぬ遭難、そして冒険へと変化していく。

『いつか、あの博物館で。』

アンドロイドと不気味の谷』

朝比奈 あすか／著
東京書籍
¥1500



ロボット博物館への校外学習で偶然同じ班になった、性格も家庭環境も異なる男女4人の中学生。クラスメイト以上、友達未満の彼らの中学校生活3年間を、それぞれの視点から描く。

『世界に挑む!デファスリート』

聴覚障害とスポーツ』

森埜 こみち／著
ぺりかん社
¥1700



南中学校
O先生の紹介

私たちのすぐ近くには多様な社会が広がり、その中で多くの人が輝いていると気付かされます。2025年11月には夏季デフリンピック第25回大会が東京で開催されます。世界各国のデファスリートの勇姿に注目です。

2025年 夏休みすいせん図書《中学生》

『15歳の昆虫図鑑』

五十嵐 美怜／著
講談社
¥1500



「わたしとも遠藤さんともうまくやってる鈴木さんは、アメンボに似てる」虫オタな転校生が、悩める4人のクラスメイトの魅力を「昆虫」にたとえはじめると、クラスメイトたちが次々と「新しい自分」を発見し…。

『透明なルール』

佐藤 いつ子／著
KADOKAWA
¥1500



「人にどう思われるか」を気にしすぎる女子中学生が、不登校ぎみの転校生やマイペースな学級委員との交流を通じて、自分を縛る＜透明なルール＞に気付き…。空気の読み合い、息苦しさの先に見つけた希望の物語。

『シンプルとウサギのパンパンくん』

マリ＝オート・ミュライ／著
河野 万里子／訳
小学館
¥1800



知的障害を持つ兄・シンプルと、親元を離れることにした高校生のクレベール。弟の不安をよそに、シンプルはウサギのぬいぐるみのパンパンくんと遊んでばかり。学生達と共同生活を始めると2人の日常はフクザツになっていき…。

『闇に願いを』

クリスティーナ・スートンヴァット／著
こだま ともこ／訳
辻村 万実／訳
静山社
¥1800



笹原中学校
F先生の紹介

「光は価値ある者のみを照らす」ーでは光とは？価値とは？立場は違っても、それぞれに闇を抱えた、ポン、ソムキッド、ノックが、みんなで手を取り合って、よく見て、工夫して、闇を開く光を手を入れる冒険物語。

『野生生物は「やさしさ」だけで守れるか？ 命と向きあう現場から』

朝日新聞取材チーム／著
岩波書店
¥940



北中学校
I先生の紹介

人と生きものが共生するためには様々な問題があります。この本は命と向き合う人々が、悩みながらもとり着いた「自分なりの考え」が紹介されています。みなさんも「自分ならどうするか」一緒に考えてみてください。

第71回青少年読書感想文全国コンクール課題図書



『わたしは食べるのが下手』

天川 栄人／作
小峰書店
¥1600



『スラムに水は流れない』

ヴァルシャ・バジャージ／著
村上 利佳／訳
あすなろ書房
¥1600



『鳥居きみ子 家族とフィールドワークを進めた人類学者』

竹内 紘子／著
くもん出版
¥1400

さらにもう一冊！
世界を広げよう！

こちらもおすすめ



『＜弱いロボット＞から考える 人・社会・生きること』

岡田 美智男／著
岩波書店
¥990



『チョコレートを食べたことのないカカオ農園の子どもにきみはチョコレートをあげるか？』

木下 理仁／著
旬報社
¥1700



『ココロの花 華道部&サッカー部』

八束 澄子／作
あわい／絵
新日本出版社
¥1500



『3倍速ドッペルゲンガー』

久米 絵美里／著
森川 泉／絵
アリス館
¥1500



『アフェイリア国とメイドと最高のウソ』

ジェラルディン・マコックラン／著
大谷 真弓／訳
小学館
¥1800

※表紙画像の使用について出版社確認済
※先生以外の内容紹介は[TRCマーク]による

中学校
先生の紹介



市内中学校の先生たちも読みました！
先生たちの紹介文には、このマークがついてるよ



伊丹市立図書館（本館・北分館・南分館・神津分館・西分室）
すいせん図書の貸出は7月12日（土）から

青少年読書感想文全国コンクールの課題図書および伊丹市夏休みすいせん図書は、2024年1月1日から12月31日までに発行された図書が対象です。

伊丹市立小中学校図書館教育担当者会
伊丹市立図書館